

仙台市 環境局 脱炭素都市推進部

「脱炭素を『自分ごと』に！～市民・事業者と取り組む都市づくり～」

——貴市の脱炭素化に係るこれまでの歩みについてご教示ください。

本市では、喫緊の課題である地球温暖化対策等に率先して取り組み、良好な環境を将来に向け確保していくため、2020年に「仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例」を施行するとともに、2021年に策定した「仙台市地球温暖化対策推進計画」では、当時の国の目標を上回る温室効果ガス削減目標を掲げ、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「**ゼロカーボンシティ**」宣言を行いました。その後、国の目標が引き上げられたこと等を踏まえ、2023年に計画を改定し、**2030年度の目標を国を上回る「55%以上削減」として、市民・事業者と協働して目標達成に向けた取り組みを推進**しています。

——脱炭素先行地域事業についてご教示ください。

本市は、**環境省が主導する脱炭素先行地域の第4回募集に応募し、2023年に選定**されました。本市の取り組みのテーマは、「**109万市民の“日常”を脱炭素化～『働く人』『暮らす人』『訪れる人』が豊かな時間を過ごせる“新たな杜の都”～**」です。2050年ゼロカーボンシティの確実な実現に向けて、109万市民の日常のさまざまな場面で脱炭素化モデルを創出するとともに、2030年以降を見据え、地元事業者の技術力向上を柱としています。

対象エリアは、日常の脱炭素化を具現化できる象徴的かつ波及効果の高い場所として、定禅寺通、泉パークタウン、東部沿岸の3つのエリアを設定し、対象エリアにおいて、住宅や業務ビル等における電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを目指し、省エネ・再エネ設備等の導入費用の一部を補助することで、脱炭素化を促進しています。取り組みを着実に推進するため、**民間企業や地域団体、大学などの会員で構成する「仙台市脱炭素先行地域プロジェクトパートナーズ」を設立**し、事業ごとに実施体制を構築し推進しています。

2025年度は、ビルの営業を止めずにZEB化を図る「使いながらZEB改修」を開始し、ビルオーナーや地元設計事務所等を対象とした改修見学会を実施しました。また、ZEBに対する事業者の理解浸透と既存ビルの省エネ・ZEB改修の普及に向け、**定禅寺通エリアを中心にZEB化に取り組むビルを「定禅寺ZEBスポット」と位置づけ、改修工事の仮囲い等を活用した広報を実施**するなどさらなる啓発に努めています。

"日常"の脱炭素化に向けて

- ① **脱炭素リノベーション**で、快適な都市空間を創出
- ② 脱炭素モビリティで、市内の回遊性を向上
- ③ **地元事業者の技術力・競争力をアップ**
- ④ 脱炭素・資源循環の**人づくり**
- ⑤ **東北大学の知見**を活用した取組の高度化



取り組みの全体像

使いながらZEB改修工事中

新たな杜の都へ。



脱炭素先行地域
推進部

定禅寺 ZEB スポット

新たな杜の都へ。

「定禅寺ZEBスポット」広報看板

また、本市では、脱炭素先行地域の対象エリアのみならず、市域全体の脱炭素化推進を目指すこととしており、市民の行動変容を促進する企業等と連携した取り組みとして、市民一人ひとりの環境配慮行動の定着を目指した「**杜の都脱炭素デイリーアクション**」を実施しています。本施策は、スマートフォンアプリを活用し、日常生活における環境配慮行動を楽しく継続できる仕組みです。

——事業者向け施策や民間企業との連携事例についてご教示ください。

本市では、事業者と市が協働して計画的な排出削減を図る「**温室効果ガス削減アクションプログラム**」を推進しています。本制度は、温室効果ガスを一定以上排出する事業者に参加を義務付けていますが、それ以外の事業者も任意での参加を可能としており、参加事業者の数は年々増加しています。制度への参加事業者には、CO2排出量の「見える化」ツールの提供や、再エネ・省エネ設備等の導入補助のほか、外部専門家と市職員が事業所を訪問し、無料で省エネ対策の助言を行うなど、人員や資金に限られる中小企業者の脱炭素化をきめ細かに支援しています。また、商工会議所等の関係機関や民間企業と連携し、脱炭素の取り組みの必要性やメリット等を分かりやすく学んでいただくためのワークショップ等も実施しており、今後も、こうした取り組みを通じ、中小企業者等の脱炭素経営を一層後押ししていきたいと考えています。



事業者向けワークショップ取り組みの様子



温室効果ガス削減アクションプログラムの仕組み

また、民間企業等との協働の取り組みとして、市民団体・事業者・行政機関などで構成される「**せんだいE-Action**」の活動も挙げられます。東日本大震災におけるエネルギー途絶の経験をきっかけとして、2013年に「せんだいE-Action実行委員会」を立ち上げ、「3E(省エネ、創エネ、蓄エネ)」をキーワードに、市内の様々なイベントへの出展やSNSでの発信を通じて市民向けの啓発事業を推進しています。

イベントでは、太陽光発電を利用したガラスコップのエッジングをワークショップ形式で実施するなど、再生可能エネルギーをより身近なものに感じてもらうための活動を市民団体や事業者と協働で行っています。



市内イベントでブースを出展



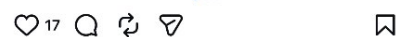
太陽光発電でガラスエッジングワークショップ

高断熱住宅の普及促進においても、住宅関連団体等で構成される官民連携の「**仙台市高断熱住宅普及促進協議会**」において、取り組みを推進しています。市域における高断熱住宅の普及はもとより、地元工務店においても高断熱住宅の施工を請け負うことで地域経済の循環も図られるよう、つくり手の技術向上を目的としたセミナー等を実施しているほか、住まい手である市民へSNS等を活用した啓発活動を行っているところで

——貴市の今後の展望をご教示ください。

市域の温室効果ガス排出量は、市民・事業者の皆さまの取り組みにより減少傾向にある一方、目標の確実な達成に向けては、再生可能エネルギーの普及拡大や省エネの徹底など、これまで以上に取り組みを加速させる必要があります。そのため、今後、本市では新築建築物の屋根等を活用した太陽光発電の導入や高断熱化を促進するための新たな制度の導入を目指すとともに、中小企業の脱炭素支援を一層推進していきます。

また、こうした取り組みを支える市民や事業者の皆さまが、脱炭素を「自分ごと」として捉え、自ら行動する機運を高めていくことも重要と考えており、行動変容につながる取り組みも推進しながら、脱炭素社会の実現を目指します。



Instagramによる情報発信



仙台市
SENDAI CITY
杜の都

仙台市ホームページ : <https://www.city.sendai.jp/>